

行政事業レビューシート (総務省)

| | | | | | | |
|----------------------------|--|---|-----------------|---------|------|--------|
| 予算事業名 | 国際放送の実施 | 事業開始年度 | 昭和26年度 | 作成責任者 | | |
| 担当部局庁 | 総務省情報流通行政局 | 担当課室 | 衛星・地域放送課国際放送推進室 | 室長 松下 整 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | 上位政策 | ユビキタスネットワーク整備費 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 放送法(昭和25年法律第132号)第33条、第35条 | 関係する計画、通知等 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 放送法の規定に基づき、NHKに国際放送を実施させることにより、我が国の文化、産業等の事情を海外へ紹介し、我が国に対する正しい認識を培うことによって、国際親善の増進及び外国との経済交流の発展等を図るとともに、在外邦人に対して必要な情報を提供する。 | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 放送法第33条第1項の規定に基づき、NHKに対して、必要な事項を指定して、国際放送(ラジオ国際放送)を実施させる。 実施に要する費用については、放送法第35条第1項の規定に基づき、国が負担。 | | | | | |
| 実施状況 | <p>NHKに対し、以下の事項を指定して国際放送の実施を要請し、実施させた。</p> <p>1 (1) 放送事項は、邦人の生命、身体及び財産の保護に係る事項、国の重要な政策に係る事項、国の文化、伝統及び社会経済に係る重要事項、その他国の重要事項のそれぞれに係る報道及び解説とする。 (2) 上記事項の放送に当たっては、北朝鮮による日本人拉致問題に特に留意すること。 2 放送区域は、中米、南米、中東・北アフリカ、アフリカ、極東ロシア、アジア大陸(北部)、アジア大陸(中部)、アジア大陸(南部)、東アジア、朝鮮、東南アジア、フィリピン・インドネシア、南西アジア及び豪州・ニュージーランドとする。 3 用いる言語は、日本語、中国語又は朝鮮語とする。</p> | | | | | |
| 予算の状況 (単位:百万円) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度要求 |
| | 予算額(補正後) | 2,158 | 1,807 | 1,053 | 953 | 945 |
| | 執行額 | 2,158 | 1,807 | 1,053 | | |
| | 執行率 | 100% | 100% | 100% | | |
| | 総事業費(執行ベース) | 2,158 | 1,807 | 1,053 | | |
| 自己点検 | 支出先・用途の把握水準・状況 | NHKにおいて適正に実施されているかを判断するため、実施経費総括表、番組表、放送法施行令第7条第1号ホに規定する資料(国際放送等実施概況報告。毎月提出。)等により、履行状況を確認。 | | | | |
| | 見直しの余地 | 我が国の国際放送は、昭和26年に短波によるラジオ国際放送が開始されて以降、国の要請(19年度以前は命令)に基づく放送とNHKの自主放送とが相まって、必要な役割を果たしてきたところ。開始以来ラジオ国際放送が主体であったが、近年は映像による対情報発信強化という世界的潮流の中、テレビ国際放送を強化する(平成7年開始。19年度より放送命令を実施。)一方で、ラジオ国際放送については、平成21年1月1日以後、対象言語を必要最小限度のもの(在外邦人向けとしての日本語及び特に重要な近隣諸国向けとして中国語、朝鮮語の3言語)に限定するなどの見直しを進めてきている。 今後も、国として必要な国際放送の確実な実施を確保する必要は変わらないが、国際放送を実施する上でのテレビとラジオの役割分担や、ラジオ国際放送の効果的かつ効率的な実施方法については、引き続き検討していくこととしている。 | | | | |
| 予算監視の効率 | 現行または見直し案どおり | | | | | |
| 補記 | 特になし | | | | | |

総務省
1,053百万円

〔 放送法第33条第1項の規定に基づき、
NHKに国際放送の実施を要請し、その
放送に要する費用を交付 〕



【 交 付 】

A. 日本放送協会
1,053百万円

〔 要請放送と自主放送を一体として実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

| A. 日本放送協会 | | | E. | | |
|-----------|-------|-------------|----|----|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 交付金 | 人件費 | 297 | | | |
| | 国際放送費 | | | | |
| | 番組制作費 | 252 | | | |
| | 編成企画費 | 14 | | | |
| | 技術運用費 | 6 | | | |
| | 通信施設費 | 398 | | | |
| | 受信改善費 | 86 | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 1,053 | 計 | | 0 |
| B. | | | F. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

国際放送の実施

1 施策の概要

- (1) 放送法第33条第1項の規定に基づき、NHKに対して、必要な事項を指定して、国際放送（ラジオ国際放送）を実施させることにより、我が国の産業等の事情を海外へ紹介し、我が国に対する正しい認識を培うことを通じて、国際親善の増進及び外国との経済交流の発展等を図るとともに、在外邦人に対して必要な情報を提供する。
- (2) 実施に要する費用については、放送法第35条第1項の規定に基づき、国が負担。

2 イメージ図

